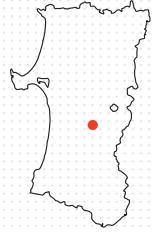


ちいさ 一元気

レポート



富岡商店

秋田県仙北市角館町東勝楽丁2番地2

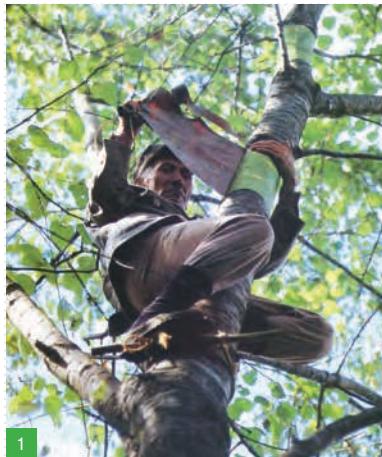
☎ 0187-54-11565

伝統の樺細工に 新しい風を吹き込む「富岡商店」

歴史ある武家屋敷が建ち並び、「みちのくの小京都」とも呼ばれる秋田県・角館町。今も江戸時代初期の屋敷割や屋敷構えなどを残し、国の重要伝統的建造物群保存地区の指定を受けています。

その一角にあるのが、樺細工の製造元、富岡商店。2005年、この地に本店を移し、セレクトショップを併設しました。店内には樺細工だけではなく、器やアクセサリー、染め物などさまざまな「手しごと」が並びます。

先代である父が始めた樺細工問屋を継いだ富岡浩樹社長。「一生にひとつ」使い続ける豊かさを通して、潤いのある生活のお手伝いを目指しています。



- 1 樺細工職人自らが樹木を採取。人手不足や天候の不順により、入荷量は年々減少傾向にある
- 2・3 通常、樺細工は3工法といわれるが、富岡商店では模様付けを追加した4工法で紹介している
- 4 富岡浩樹社長。1985年に店を継いで以来、樺細工の普及に尽力している



▲樺細工の利点を活かした茶筒も人気商品

武士の手内職から 花開いた「樺細工」

「樺」とは野生のヤマザクラの樹皮のこと。

桜の樹皮を幹から丁寧に剥がし、3年以上乾燥させて水分を抜いたものを薄く削つて加工します。樺細工の歴史は古く、正倉院（奈良県）の御物に見られるほか、ヤマザクラの美しさは万葉集や源氏物語でも詠われています。

樺細工や桜皮細工と表記される角館の「かば」細工。江戸後期、角館を治める佐竹北家の武士・藤村彦六が秋田県北部の阿仁地方に伝わる技術を習得したことが始まりだといわれています。その後、下級武士の手内職として広がり、明治期、有力な問屋

が現れると、安定した産業としてさらに発展を遂げます。230年もの間、技が受け継がれた樺細工は、1976年、秋田県で初めて国の「伝統的工芸品」に指定されました。

樹皮を使い分け、 さまざまな表情を生み出す

民藝運動を提唱した思想家・柳宗悦（1889～1961）は、樺細工について「日本の木である桜が使われている」「日本固有のものである」と高く評価していました。もともとは灰褐色で表面がザラザラしているヤマザクラの樹皮。樺細工に使われる樹皮の種類は12種類もあるそうです。もとの質感を活かした「霜降皮」で自然な表情を楽しんだり、表面を削つて現れる赤茶色の層を磨いた「無地皮」で職人が削りと磨きを繰り返した独特的の色艶を味わったり。自然が生み出した色彩や模様は職人の手でさまざまな表情を持ち、使い込むほどに味わい深い質感と光沢を増していくままです。湿気を避け、乾燥を防ぐなど実用性も兼ね備えているため、薬籠や煙草入れ、刀の鞘の補強材などに使われていました。



4

コラボレーションが 新しい商品を生み出す



▲優しい灯りが照らす、
樺細工による照明器具

樺細工が与えてくれる 暮らしの彩り

セレクトショップには、富岡社長が選んだ「手しごと」の数々が並んでいます。その基準は「自分が好きなもの」。自社で企画制作する樺細工も、マーケティングではなく「直感」を頼りにしています。

「樺細工は生活必需品ではなく嗜好品です。だから、お客様が商品を見て、ニコッと笑ってもらえるようなものを作りたい。そうすると、気持ちがちょっと豊かになると思うんです」。

セレクトショップの名前は、桜に月の幽玄な様を表す「香月」。日本人が昔から持っている普遍的な美意識の文化を角館から発信したいと考えました。「使い続ける豊かさ」を提案できるよう、新人作家の作品発掘も含め、洗練された、それでいて親しみのあるものづくりを目指しています。



5 6 7
セレクトショップ「香月」の店
内の様子。
秋田県にある国の伝統工芸
品の指定を受けた、大館曲げ
わっぱや川連漆器とコラボレー
ションした商品も多数展開



▲名刺入れなど、文房具も
数多く取り揃え

若い人々も惹きつける 新ブランド「Kavers」

樺細工の価値を 世界に向けて発信する

樹皮は、幹から綺麗に剥がれやすくなる7月下旬から9月にかけて採取します。以前は、農作業がひと段落するこの時期、樹皮を採取する「山師」が多くいました。しかし、農家の兼業化などで「山師」が減ったうえ、天候不順もあり、樹皮の入手量は減っています。

そこで、大切な樹皮を100%活かし切ることはできないかと考え、完成したブランドが「Kavers（カヴァーズ）」です。樹皮を微細加工し、ブローチ、ピアス、ヘアゴムなどを製作しました。

「どんな表情の樹皮や端材でも活用することができますし、繊細なパターンと鮮やかな色合いは樺細工を知らない人の目にも留まります。見本市では若い方々にも好評で、主催している会社から『うちのショップに置きました』と声をかけていただきました」。

国内需要が伸び悩むなか、富岡社長は新たな販路の開拓や海外への売り込みにも積極的に取り組んでいます。最も印象に残っているのは、ドイツの見本市。大館曲げわっぱとコラボレーションしたお盆「kasane gasane」が、世界的なファッショントランドの目に留まり、初めて直接輸出に成功しました。



▲「Kavers」のイヤリング、
ピアス。特に若い世代から
人気が高い



▲「大館曲げわっぱ」とコラボレー
ションした、芸術性・機能性ともに
兼ね備えたお盆「kasane gasane」



8 海外の展示会にも参加
9 コーヒー豆入れなど新しい商品
も展開
10 柄ごとに異なる意味を持つ、
「Kavers」アクセサリー
(写真は樺細工に採色を施したブローチ)



8



7



6



5

柳宗悦は、ヤマザクラの樹皮の特徴として「深い赤紫色の色調」「磨けば漆のよう光る光沢」「横には裂けやすいが、縦には強い強靭さ」をあげています。お盆、茶筒、名刺入れ・・・。富岡商店は、ほかの「手しごと」とコラボすることで、既存の枠にとらわれず、樹皮の見た目や特性を活かした樺細工を生み出していました。

「樺細工だけを置いたのでは、新しいものは生まれにくい。さまざまな『良いもの』を集めることで、作家同士の化学反応が起き、自然と新しい商品が生まれます」。

樺細工のほか、秋田県で国の大館曲げわっぱ、川連漆器、秋田杉桶樽の3つ。富岡商店は、このすべてとコラボした商品を生み出しています。

樺細工のほか、秋田県で国の大館曲げわっぱ、川連漆器、秋田杉桶樽の3つ。富岡商店は、このすべてとコラボした商品を生み出しています。

有限会社富岡商店

購入先はこちら

かづき
「アート&クラフト 香月」



秋田県仙北市角館町東勝楽丁2番地2
T E L:0187-54-1565
営業時間:9:00~17:00
定休日:不定休
(8/13、12/31、1/1は休み)
※1~2月は水・木曜日が定休日になります

富岡商店 樺細工工芸ギャラリー



秋田県大仙市上鶯野字熊野71番地3

T E L:0187-56-3239

営業時間:8:20~17:30

定休日:日曜・祝日、

8/13~8/15、12/31~1/3

海外からもオンラインストアを
ご利用いただけます



<https://tomioka-shoten.com>

<https://www.instagram.com/to.mioka.shoten/>